

授業概要

心理療法および心理援助のさまざまな理論やアプローチを講義する。

心理療法とは、臨床心理学の知見をもとに、こころの問題に関連する心身の問題や症状を改善しようとする方法の総称である。心理療法にはさまざまな学派、方法論があるが、本講義では、精神分析理論や行動主義、人間性心理学などなど、代表的な方法に関する基本的な知識を講義する。さらに、心理教育的援助や子どもの心理療法のほか、心理援助の応用的展開まで発展的に講義する。

授業計画

第 1 回	心理療法とは：概論， インテーク， アセスメント， 治療契約， 中断， 終結
第 2 回	心理療法の理論と方法論 1：来談者中心アプローチ
第 3 回	心理療法の理論と方法論 2：精神分析的アプローチ
第 4 回	心理療法の理論と方法論 3：応用行動分析
第 5 回	心理療法の理論と方法論 4：ゲシュタルト療法
第 6 回	心理療法の理論と方法論 5：内観療法
第 7 回	心理療法の理論と方法論 6：ブリーフセラピー
第 8 回	心理療法の理論と方法論 7：森田療法
第 9 回	心理療法の理論と方法論 7：論理療法
第 10 回	心理教育的援助：アサーション・トレーニング
第 11 回	心理教育的援助：自律訓練法
第 12 回	子どもの心理療法 1：遊戯療法と児童分析
第 13 回	子どもの心理療法 2：母子臨床
第 14 回	心理援助の応用的展開 1：サイコロジカル・ファーストエイド
第 15 回	心理援助の応用的展開 2：心的外傷と心理的援助
第 16 回	試験（筆記）

到達目標

- 心理療法の基本的枠組みを説明することができる。
- 各種心理療法および心理援助の考え方，方法論の差異を明確に説明することができる。
- 心理療法をする者の基本的な心構えについて、自分の考えをもつ。

履修上の注意

授業内では体験などの演習的内容を含むため、他の履修生との協力的なかわりや積極的な取り組みを期待する。

予習・復習

予習) 次回授業に関連した文献に目を通す。

復習) 授業内容の振り返りとともに関連文献を参照することによって知識の定着を図る。

評価方法

授業参加態度（積極性，主体性，意欲）50%，試験 50%

テキスト

使用しない。適宜資料を配布する。